

モニタリング調査結果

種名： イチリンソウ

調査者： N P O 法人境川の斜面緑地を守る会

調査地： 古淵

調査期間	気づいたこと
2018年4月 ～2018年5月	開花数は①斜面上部9個。②竹林上流側1個。③斜面下6個、合計16個の開花を確認した。昨年は合計34個の開花があり、今年はかなりの減少である。特に斜面上部の生育地は過去に最大93個の開花を記録しており、近年の衰退傾向が気になる。
2019年4月 ～2019年5月	開花数は①斜面上部20個。②竹林上流側3個。③斜面下5個、合計28個の開花を確認した。過去のピーク時には及ばないが、昨年よりは開花数は僅かばかり回復している。
2020年4月 ～2020年5月	開花数は①斜面上部12個、②竹林上流側3個、③斜面下は3個、合計18個の開花を確認した。今年も減少傾向であり、3年前の激減の理由は不明のままである。
2021年4月 ～2021年5月	開花数は①斜面上部22個、②竹林上流側9個、③斜面下は3個、合計34個の開花を確認した。4年前の激減の理由は相変わらず不明のままである。（農薬説もあるが確証なし）
2022年4月 ～2022年5月	お墓横(D3)は花+蕾数7株（前年比-15）。A1（竹林）上流側は開花数9株（同±0）。斜面下（D1）は開花数1株（同-2）。 D3群落よりA1群落（タケ林横）の方がのびのびと育っている感じ。A1群落は人目に付きやすいので注意が必要か。
2023年4月 ～2023年5月	お墓横(D3)は花+蕾数0株（前年比-7）。A1（竹林）上流側は開花数7株（同-2）。斜面下（D1）は開花数0株（同-1）。D3はついに開花0となったため、被圧しているヤエムグラ、ドクダミを除去した。A1群落は例年並み。人目に付きやすいので注意が必要。
2024年4月 ～2024年5月	お墓横(D3)は花+蕾数0株（前年も0）。A1（竹林）上流側は開花数3株（同-4）。斜面下（D1）は開花数2株（同+2）。D3は開花0が継続したため、夏以降に被圧しているドクダミなどを除去する予定。A1、D1群落は開花数が減った。経年変化か？